TERAL

家庭ポンプ

標準ジェット部品

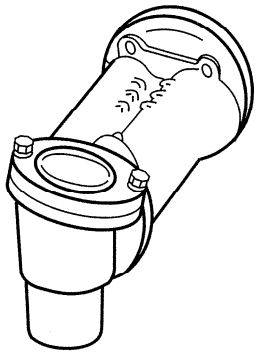
KP-J112E-1形
KP-J212E-1形
KP-J412E-1形
KP-J712E-1形

取 扱 説 明 書

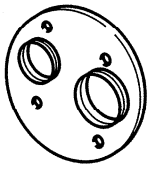
浅深ポンプをお買い上げいただきまして　ありがとうございました。
お買い上げいただきました　本製品はKP形浅深ポンプと組合せ、吸上高さが12m
より浅い井戸にお使いいただくための部品です。
ご使用の前に　この取扱説明書と　ポンプ本体に付属しています取扱説明書をよく
お読みいただきまして　正しくお使いください。

部 品 の 名 称

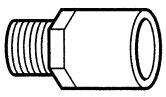
この標準ジェット部品は次のような構成となっています。
万一輸送中の破損　または部品の紛失などがありましたら　なるべく早く　お求めの
販売店に　ご連絡されるよう　お願いします。



ジェット



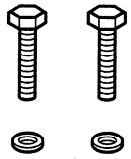
ガスケット



特殊バルブソケット
(KP-J112E-1形のみ付属)

調整スプリング

ストレーナ



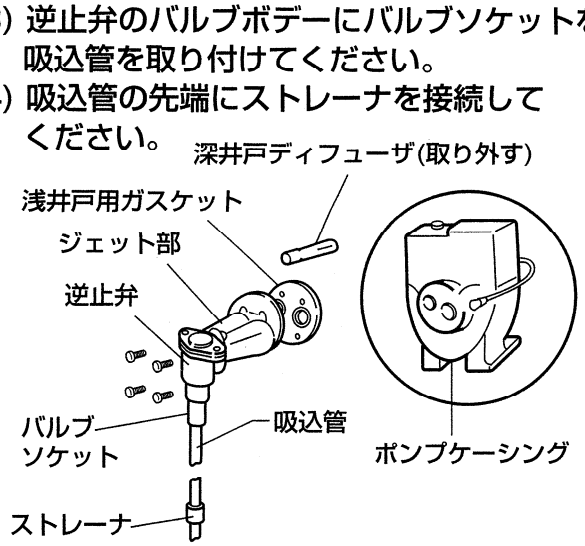
ボルト・ザガネ
(KP-J112E-1形のみ付属)

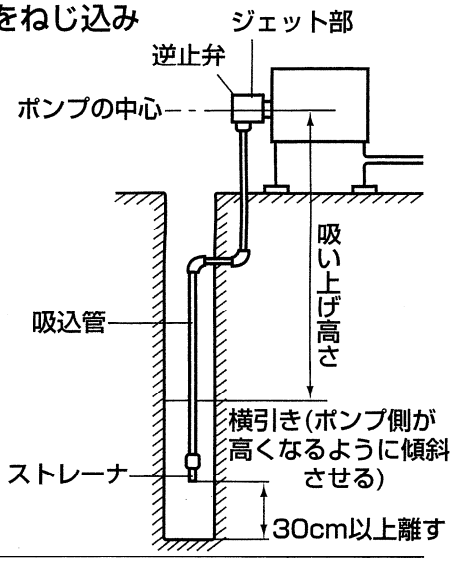
テラル多久株式会社

配　管　要　領

浅井戸配管

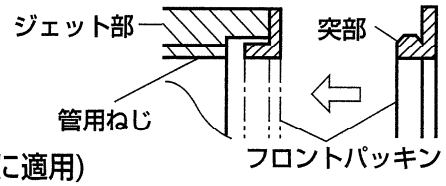
1) 深井戸ディフューザを取り外してください。
2) ジェット部と浅井戸用ガスケットをポンプケーシングに取り付けてください。
3) 逆止弁のバルブボデーにバルブソケットをねじ込み吸込管を取り付けてください。
4) 吸込管の先端にストレーナを接続してください。





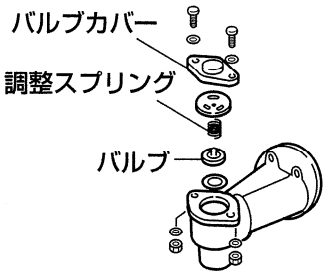
注意

水封性・作業性向上のためフロントパッキンの突部をジェット部に圧入後、作業を行ってください。
(KP-J212E-1、KP-J412E-1、KP-J712E-1に適用)



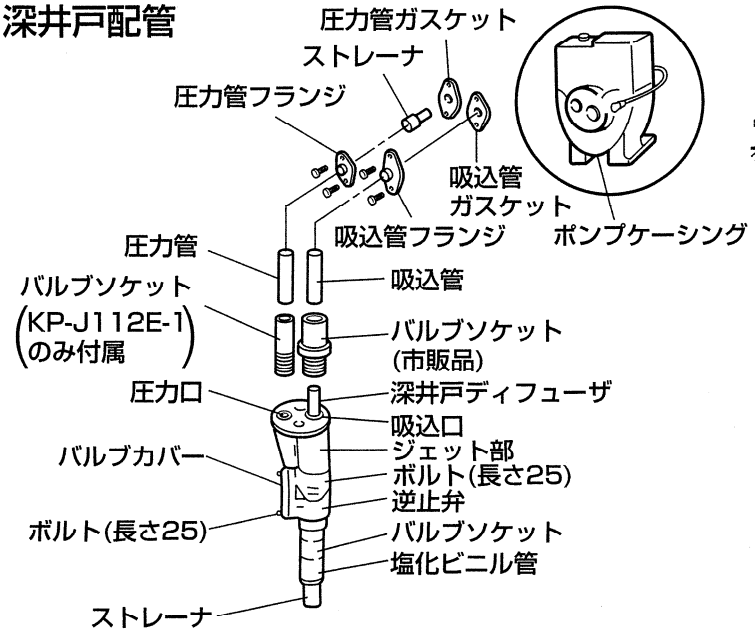
注意

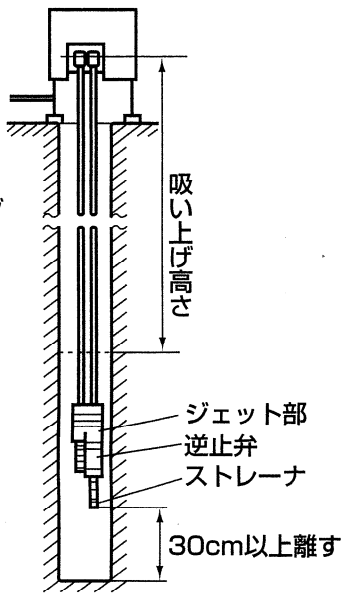
吸上高さが3mより浅いとき、または押込み揚程のときは、逆止弁に調整スプリングを入れてください。ポンプのはたらきを確実にします。



吸上高さが3mより深いときは調整スプリングを入れないでください。

深井戸配管





ポンプ本体付属部品を使用します。

1) ジェット部と逆止弁を組み替えてください。
2) ストレーナを接続してください。
3) ジェット部の圧力口に圧力管を接続してください。
4) ジェット部の吸込口に吸込管を接続してください。
5) 圧力管フランジに圧力管を接続してください。
6) 吸込管フランジに吸込管を接続してください。
7) ポンプ本体付属の圧力管フランジ、ストレーナ、圧力管ガスケットをポンプケーシングに取り付けてください。(ストレーナのツバ部を圧力管フランジの凹部に入れ組んでください。)
8) 吸込管フランジ、吸込管ガスケットをポンプケーシングに取り付けてください。

注意　深井戸配管時、KP-J112E-1のみ同梱のボルトは不要です。

仕　様

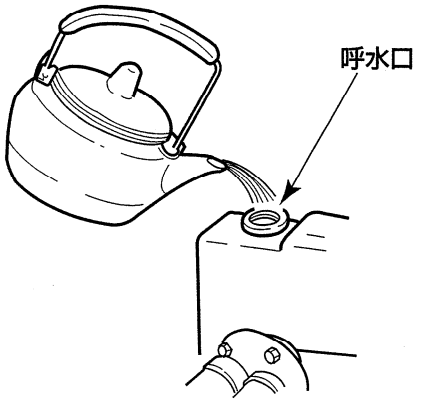
ジェット形名	KP-J112E-1		KP-J212E-1		KP-J412E-1		KP-J712E-1	
ポンプ出力	150W		250W		400W		750W	
適用ポンプ形名	KP-155S -156S -155T -156T		KP-255S -256S -255T -256T		KP-405LS/406LS -3405LS/3406LS -405LT/406LT -3405LT/3406LT		KP-3755LS/3756LS -3755LS-1/3756LS-1 -3755LT/3756LT	
吸上高さ(m)	6	12	6	12	6	12	6	12
押上高さ(m)	6		10		11		16	
揚水量(L/min)	22	15.5	35	21.5	45	35	65	55
吸込管の呼びmm(B)	20(3/4)	25(1)	25(1)	30(1 1/4)	30(1 1/4)		30(1 1/4)	
圧力管の呼びmm(B)	—	20(3/4)	—	25(1)	—	25(1)	—	25(1)

・吸上高さが6m時の揚水量は全揚程12mのときです。

運　　転

《浅井戸の場合》

1) 呼水栓を取り外し、ポンプケーシング内を呼び水で満水にしてください。
2) 蛇口を一ケ所開いてください。
3) 電源を差し込み　ポンプが異常なく運転するかどうか確認してください。
4) 運転開始後、数分で揚水します。
5) もし揚水しない場合は呼び水が不足していることがありますので電源を切り再び呼び水を注水後、電源を入れてください。
6) 揚水後、蛇口を開閉しポンプが自動的に運転停止するか確かめてください。



浅井戸時の注水量

ポンプ出力(W)	注水量(L)
150	1.2
250	2.0
400・750	2.6

《深井戸の場合》

1) 呼水栓を取り外し、吸込管、圧力管、ポンプケーシング内を呼び水で満水にしてください。
2) 蛇口をすべて開いて、呼水口に圧力計（連成計でも良い）を取り付けます。
3) 調圧弁の調整ねじを右（時計回り）へいっぱいにねじ込みます。
4) 電源を差し込みポンプが異常なく運転するかどうか確認してください。
5) 調整ねじを徐々にゆるめ圧力計の指示が次表の値になるように調整してください。この場合調整が不適当であるとポンプより「ガー」という異常音が発生しますので、異常音が発生した場合調整ねじを締め込み、異常音が出ないよう調整してください。
6) 計器がない場合は　調整ねじをいっぱいに締め込み　ポンプの安全運転を確認後徐々に調整ねじをゆるめポンプより「ガー」という異常音が発生したら　徐々に締め込み異常音がなくなった点から約$^{1}/_{2}$回転締め込んでください。
7) この状態で　数分間運転し異常ないことを確認してください。
8) 電源を切り　蛇口を閉じ　計器を取り外し　もう一度呼び水後電源を入れ蛇口を開閉して自動的に運転停止を繰り返すかどうか確認してください。

調圧弁調整圧力

ポンプ出力(W)	調整圧力
150	50kPa{0.5kgf/cm²}
250	100kPa{1.0kgf/cm²}
400	140kPa{1.4kgf/cm²}
750	240kPa{2.4kgf/cm²}

家庭ポンプアフターサービス網

〈テラル株式会社〉

札幌支店 (011)644-2501
仙台支店 (022)232-0115
郡山営業所 (024)922-5122
北関東支店 (048)665-4018
大宮営業所 (048)665-4018
新潟営業所 (025)287-5032
長岡営業所 (0258)29-1725
前橋営業所 (027)253-0262
水戸営業所 (029)224-8904
宇都宮営業所 (028)621-2422
千葉営業所 (043)264-5252
東京支店 (03)3818-6751
立川営業所 (042)536-2714
横浜営業所 (045)450-5351
金沢支店 (076)240-0350
富山営業所 (076)433-2151
名古屋支店 (052)937-9521
静岡営業所 (054)285-3201
沼津営業所 (055)923-1377
浜松営業所 (053)463-1701
岐阜営業所 (058)271-6651
大阪支店 (06)6227-0491
南大阪営業所 (072)253-4391
滋賀営業所 (077)583-3666
京都営業所 (075)647-1550
神戸営業所 (078)382-1991
姫路営業所 (0792)81-5511
広島支店 (082)297-8853
福山営業所 (084)961-0222
米子営業所 (0859)32-2970
岡山営業所 (086)241-4221
高松支店 (087)867-4040
松山営業所 (089)935-4335
福岡支店 (092)651-6151
北九州営業所 (093)571-5731
大分営業所 (097)551-1857
熊本営業所 (096)380-8388
長崎営業所 (095)848-2221
宮崎営業所 (0985)39-1577
鹿児島営業所 (099)253-4321

2007年5月現在

夜間・休日の修理受付
監視センター　TEL (03)3818-6904
　　FAX (03)3818-6854

〈テラル多久株式会社〉
修理センター(窓口) ——(0952)75-4123
部品センター ┬ 0120-24-3635
　　└(0952)75-4129

テラル多久株式会社
〒846-0023　佐賀県多久市南多久町長尾3898
TEL(0952)75-4123　FAX(0952)74-2773

お客さまへ　おぼえのために、お買上げ年月日、お買上げ店名などを記入してください。

お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名 (住　所) (電話番号)	